

平成22年度後期 情報検定

<実施 平成22年12月12日（日）>

1 級

(説明時間 13 : 20 ~ 13 : 30)

(試験時間 13 : 30 ~ 14 : 30)

- ・ 試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・ 解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・ 試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・ 試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・ 辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・ 電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話（PHS）、ポケットベル、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付腕時計等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は18ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 合否通知の発送は平成23年1月下旬の予定です。
 - ①団体受験された方は、団体経由で合否の通知をいたします。
 - ②個人受験の方は、受験票に記載されている住所に郵送で合否の通知をいたします。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題 1 次の新QC 7 つ道具に関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) 原因と結果，目的と手法など，複雑に絡み合った問題に関して，その関係を図で示すことにより分かりやすく表現したもの。図の中央に解決したい問題や目的を置き，そのまわりに要因となる項目を配置して因果関係を矢線で表示する。
- (2) ある問題についての事実や意見などの大量のアイデアを関連性の強さや類似性に着目してグループ分けして図示することにより，問題の構造を明らかにするもの。ブレインストーミングの際に，メンバーから出されたアイデアを整理するとき利用される。
- (3) ある目的を達成するための手段を考え，その手段を実現するためにさらにいくつかの手段にトップダウン的に展開して枝分かれさせて理論的に図示するもの。
- (4) 問題となるものに関連する項目を表の行および列方向に並べ，該当する項目が交差する位置に関係の有無や関連性を表記してまとめるもの。
- (5) 表にまとめた項目間の関連を数値データに変換し，統計的に解析することにより主要な問題や原因を分かりやすく要約するもの。
- (6) 作業全体を構成する要素の相互依存関係をネットワーク図にしたもの。工程管理における最適な日程計画を立てる場合などに利用される。
- (7) 問題解決などを進める過程において，目的を達成するための手段や問題を予測し，プロセスの進行を進める手順を図式化したもの。問題が生じたときには，軌道修正することが可能である。

(1) ～ (4) の解答群

- | | |
|---------|-----------|
| ア．パレート図 | イ．マトリクス図 |
| ウ．系統図 | エ．親和図 |
| オ．連関図 | カ．散布図 |
| キ．管理図 | ク．チェックシート |

(5) ～ (7) の解答群

- | | |
|--|-------------|
| ア．PDPC(Process Decision Program Chart) | イ．PERT 図 |
| ウ．マトリクスデータ解析 | エ．デシジョンテーブル |
| オ．ABC 分析 | カ．回帰分析 |

問題2 次のコンピュータの保守に関する設問に答えよ。

<設問1> 次の保守に関する記述中の□□□□に入れるべき、適切な字句を解答群から選べ。

コンピュータの保守とは、障害を事前に防いだり効率よく利用したりするために行う様々な作業のことである。Windowsでは、保守を行う手段として□(1)□, □(2)□, □(3)□などがある。

□(1)□は、オペレーティングシステムのぜい弱性の部分（欠陥やプログラム作成ミス）を排除するために実施する。例えば□(4)□を塞ぐことにより、ウイルスの侵入やハッキングの対象となることを予防できる。

□(2)□は、ハードディスクに問題が無いかを調べるもので、問題が発見された場合には修復を試みることも可能である。ハードディスクも長期間使用すると、不良セクタと呼ばれる読み書きのできない領域が生じる。不良セクタが多くなると、ハードディスクを交換する必要がある。

□(3)□は、ハードディスク内のファイルの断片化を解消するものである。ハードディスクは、アプリケーションやオペレーティングシステムが必要に応じて作業領域を確保するため、常に書き込みや削除が行われるので、ファイルの断片化が起こり、処理速度が遅くなることがある。

(1) ~ (4) の解答群

- ア. オペレーティングシステムのアップデート
- イ. スキャンディスク（チェックディスク）
- ウ. インストール
- エ. セキュリティホール
- オ. デバッグ
- カ. デフラグメンテーション
- キ. パターンファイル
- ク. プラグイン
- ケ. フラグメンテーション

<設問2> 次のデータ復旧に関する記述中の□□□□に入れるべき、適切な字句を解答群から選べ。

ハードディスクを保守しても故障する場合がある。ハードディスクが故障すると、データを失う事になり、業務に利用しているデータであれば、業務に支障をきたすような場合も十分考えられる。

そこで、普段からデータのバックアップを取得し、障害が発生した場合の復旧用として準備しておく必要がある。

あるスーパーマーケットで以下の手順によりバックアップを取得しているものとする。このスーパーマーケットは年中無休で営業をしており、営業時間は10時から21時までである。

[バックアップ手順]

- ① 日曜日の23時にすべてのデータをバックアップする（フルバックアップ）。
- ② 月曜日から土曜日までは23時に、その日に更新されたデータのみをバックアップする（増分バックアップ）。

12月のカレンダーが以下の図のときに、8日の営業開始時間より前にハードディスク障害が発生した。

| 12月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

図 12月のカレンダー

現在使用しているハードディスクの復旧の見込みが立たなくなったため、新しいハードディスクを用意して障害を復旧することにした。なお、前日23時に行ったバックアップは問題なく取得できている。

復旧の手順は、最初に□(5)に取得したバックアップを新しいハードディスクにリストアし、続けて□(6)の順番で新しいハードディスクにリストアし、障害復旧作業を終えた。

(5) の解答群

- | | |
|-------|-------|
| ア. 3日 | イ. 4日 |
| ウ. 5日 | エ. 6日 |

(6) の解答群

- ア. 4日のバックアップ, 6日のバックアップ, 7日のバックアップ
- イ. 6日のバックアップ, 7日のバックアップ
- ウ. 7日のバックアップ, 6日のバックアップ
- エ. 7日のバックアップ, 6日のバックアップ, 5日のバックアップ

問題3 次のIPアドレスに関する設問に答えよ。

<設問1> 次のIPアドレスの構成に関する記述中の□□□□に入れるべき、適切な字句を解答群から選べ。

IPv4におけるIPアドレスは32ビットで、ネットワーク部とホスト部に分けられている。それぞれ使用するビット数はアドレスクラスにより異なる。クラスCの場合は図に示すようにネットワーク部24ビット、ホスト部8ビットである。

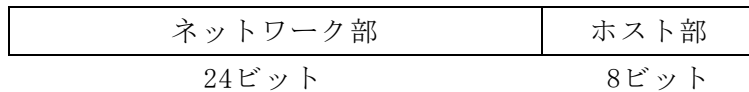


図 クラスCのIPアドレス構造

ホスト部のビット数によって同じネットワークに接続できるホスト数が決まる。クラスCの場合はホスト部が8ビットなので、□(1)と□(2)で使用されるIPアドレスを除くと、最大□(3)台のホストの接続が可能となる。

□(1)とは、ネットワークそのものを指すIPアドレスであり、図の場合、ホスト部の値を2進数で表すと□(4)となる。

□(2)とは、同一ネットワーク内のすべてのホストに情報を配信するために使われるIPアドレスであり、図の場合、ホスト部の値を2進数で表すと□(5)となる。

(1) , (2) の解答群

- | | |
|-----------------|---------------|
| ア. リンクローカルアドレス | イ. ネットワークアドレス |
| ウ. ブロードキャストアドレス | エ. ループバックアドレス |
| オ. マルチキャストアドレス | カ. ユニキャストアドレス |

(3) の解答群

- | | |
|--------|--------|
| ア. 126 | イ. 128 |
| ウ. 254 | エ. 256 |

(4) , (5) の解答群

- | | |
|-------------|-------------|
| ア. 00000000 | イ. 00001111 |
| ウ. 01010101 | エ. 10101010 |
| オ. 11110000 | カ. 11111111 |

<設問 2 > 次のサブネットに関する記述中の に入れるべき、適切な字句を解答群から選べ。

サブネットとは1つのネットワークを複数に分割したものであり、各ホストに割り当てられているIPアドレスからサブネットアドレスを取り出すために使われるのがサブネットマスクである。

サブネットマスクは、ネットワーク部を1、ホスト部を0としたビット列で表す。クラスCの場合、サブネットマスクは、255.255.255.0 (2進数で11111111 11111111 11111111 00000000) になる。

また、IPアドレスのクラスが決まれば、ネットワーク部のビット数も決まるが、ネットワーク部のビット数を任意に設定できるクラスレスIPアドレスという考え方がある。これは (6) と呼ばれ、プレフィックスを使った表記方法を用いて、192.168.1.0/27のように表記する。192.168.1.0/27と表記した場合のホスト部は (7) ビットとなる。

(6) の解答群

- | | |
|---------|---------|
| ア. CIDR | イ. IPv6 |
| ウ. NAT | エ. NAPT |

(7) の解答群

- | | |
|-------|-------|
| ア. 4 | イ. 5 |
| ウ. 24 | エ. 27 |

<設問 3 > 次のIPアドレスとサブネットマスクに関する問に答えよ。

(8) サブネットマスクが 255.255.255.240 であるサブネットで、IPアドレスが 192.168.10.100 であるホストと同じネットワークに所属する IP アドレスを解答群から選べ。

(8) の解答群

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア. 192.168.0.100 | イ. 192.168.10.106 |
| ウ. 192.168.10.112 | エ. 192.168.10.224 |

(9) 各サブネットに 50 台のパソコンを接続したい。必要最低限のホスト部を確保できるサブネットマスクを解答群から選べ。

(9) の解答群

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ア. 255.255.255.0 | イ. 255.255.255.64 |
| ウ. 255.255.255.128 | エ. 255.255.255.192 |

問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。

問題4 次のコンピュータの利用に関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) 企業間のオンライン受発注システムのこと。企業活動で生じる発注や仕入れ、支払などの業務をコンピュータで一元管理し、例えば各店舗の端末から本部などへネットワーク経由で発注を行なうことにより、迅速かつ正確な発注作業が実現できる。
- (2) 取引に関する情報の書式を統一して電子データ化し、企業間で情報を交換する仕組み。受発注や見積り、決済などに関わるデータがネットワークを介して送受信される。
- (3) 企業と消費者の間で行われる電子商取引である。代表的なものとして、メーカーのオンラインショップサイトなどがある。
- (4) インターネットなどのネットワークを介してソフトウェアを利用する、ソフトウェア提供サービスで、様々なソフトウェアの機能の中から、ユーザが必要とするものだけを利用できる仕組みである。
- (5) 社内などの限られた範囲でネットワークを構築する際に、インターネットの標準的な技術を利用して構築したもの。インターネットで利用されているプロトコルを社内システムに利用することで、インターネット用のハードウェアやソフトウェアがそのまま利用できる。
- (6) 顧客が用意した通信機器やサーバを通信回線、電源設備やセキュリティ設備などが整った事業者の施設に設置するサービスである。顧客は、高速回線や、安定した電源設備などを安価に利用することができる。
- (7) Web サーバの一部をレンタルするサービスである。通信事業者やインターネット事業者が自社の設備を使用して提供するサービスで、通常は1台のサーバを複数の顧客で共用し、顧客ごとに利用できるサーバの容量には上限が設定されていることが多い。
- (8) 企業内の情報システムの運用管理などを外部の専門業者に委託することで、人件費や設備投資などのコスト削減が期待できる。

(1) ~ (4) の解答群

ア. BtoC

ウ. CAE

オ. EOS

キ. POS

イ. CtoC

エ. EDI

カ. NC

ク. SaaS

(5) ~ (8) の解答群

ア. アウトソーシング

ウ. イン트라ネット

オ.ハウジングサービス

キ. ユビキタス

イ. エキスパートシステム

エ. データウェアハウス

カ. ホスティングサービス

ク. ワークフロー

問題5 次の情報流出に関する記述を読み、問に答えよ。

近年、企業や公的機関などから機密情報が流出する事件が多発している。こうした事件の原因として、情報の取扱いに関する不注意によるものが多い。

具体的には、自宅で仕事をするために、(a) 社内の情報を持ち帰った社員が、私有パソコンにその情報を入れたところ、そのパソコンにはP2P型のファイル共有ソフトがインストールされており、このソフトによって、ネットワーク上に流出するというケースがある。

多くの企業では、(b) 社内情報の持出しを禁止している。しかし、(c) 実際には徹底されておらず、このような情報流出事件が絶えないのが現状である。

また、同様なことが原因で、(d) 個人情報のネットワークへの流出も後を絶たない。いったんネットワーク上に情報が流出してしまえば、その情報は転送やコピーが繰り返され、すべてを回収することは事実上不可能である。

また、(e) 重要な情報が入ったパソコンが盗まれたり、(f) ウィルスに感染したりすることによる損害は計り知れない。

ネットワーク社会は、情報のやりとりが簡単にできる便利さの一方で、大きな落とし穴がある。

(1) 下線部 (a) について、P2P型ファイル共有ソフトによって、内部情報が流出したとした場合、その原因として適切なものを解答群から選べ。

(1) の解答群

- ア. P2P型ファイル共有ソフトは機密情報を収集する目的で作られているため。
- イ. P2P型ファイル共有ソフトを使って交換したソフトがコンピュータウイルスに侵されていたため。
- ウ. P2P型ファイル共有ソフトがウイルスチェックを行わないため。
- エ. もともとP2P型ファイル共有ソフトは、コンピュータウイルスの一種であり、情報を盗み出しネットワーク上に公開する機能を持っているため。

(2) 下線部 (b) は、社内情報等の取扱いに関するルールの1つである。そのほかに、決めておくべきルールとして適切なものを解答群から選べ。

(2) の解答群

- ア. 重要なデータを自宅へ持ち帰る場合は必ずCD-Rを使う。
- イ. ファイアウォールを導入すれば、P2P型ファイル共有ソフトを入れてもよい。
- ウ. インターネットに接続するパソコンに限り、ウィルス対策ソフトを必ずインストールする。
- エ. 社員の私有パソコンを職場のネットワークに接続しない。

(3) 下線部 (c) のようなことを防ぐため、オペレーティングシステムの機能やソフトウェアなどのツールを使った防止策として適切なものを解答群から選べ。

(3) の解答群

- ア. 社内のパソコン内にある情報のバックアップを取る。
- イ. 社内のパソコン内にある情報を暗号化し、外部記憶媒体へのコピーを不可にする。
- ウ. 社内ネットワーク内にある情報のバックアップをとっておく。
- エ. 社内ネットワークへ接続できるパソコンを増やす。

(4) 下線部 (d) の「個人情報」を保護する法律である「個人情報の保護に関する法律」が定めている内容に関して、不適切なものを解答群から選べ。

(4) の解答群

- ア. 利益を得るために本人の同意なく個人情報を他人に提供した者に対する罰則が定められている。
- イ. 個人情報とは、氏名、住所など個人を特定できる情報である。
- ウ. 個人情報を収集する場合は、その利用目的や利用範囲を明確にしなければならない。
- エ. 個人情報の開示または訂正、削除の要求が本人からあった場合、応じなければならない。

(5) 個人情報保護の取組みが JIS 規格に準拠し適切であると認められた事業者に与えられるものを解答群から選べ。

(5) の解答群

- ア. セキュリティポリシー
- イ. プライバシーマーク
- ウ. 電子透かし
- エ. 電子署名

(6) 下線部 (e) のようなことを防止するため、ハードディスクを内蔵しない端末を職場に採用する企業もある。このような端末を何と呼ぶか。解答群から選べ。

(6) の解答群

- ア. PDA
- イ. インテリジェント端末
- ウ. シンククライアント
- エ. ファットクライアント

(7) 下線部 (f) のように、パソコンがウイルスに感染してしまった場合の初動対応として最も適切なものを解答群から選べ。

(7) の解答群

- ア. 感染が疑わしいファイルを別のパソコンでも開いてみる。
- イ. 管理者へすぐ連絡し、そのままパソコンの利用を続ける。
- ウ. 最新のウイルスパターンファイルをインストールする。
- エ. パソコンを物理的にネットワークから切り離し、他への感染を防ぐ。

問題6 次の表計算ソフトに関する設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

式

=に続けて計算式や関数などを入力する。

文字列の結合

&演算子を使うことで、文字列を結合する。

セル番地の参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

また、セル番地の列位置または行位置のみを記述した場合は、その列または行全てのセルを参照する。

（例）「A:A」と記述した場合はA列の全てのセルを指す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより別シートを参照できる。

（例）集計シートのセルA1を参照する場合は、集計シート!A1と記述する。

COUNTA 関数

指定された範囲に含まれるセルのうち、空のセル以外のセルの個数を返す。

書式：COUNTA(範囲)

MAX 関数

指定された範囲に含まれるセルの中から、一番大きな値を返す。

書式：MAX(範囲)

SUMIF 関数

指定した範囲の中で条件に一致するセルの合計範囲に対応するセルの合計値を返す。

書式：SUMIF(範囲, 条件, 合計範囲)

LEFT 関数

文字列の先頭から指定された文字数の文字を返す。

書式：LEFT(文字列, 文字数)

RIGHT 関数

文字列の最後（右端）から指定された文字数の文字を返す。

書式：RIGHT(文字列, 文字数)

VLOOKUP 関数

範囲の中から検索値を 1 列目に含む行を検索し、指定した列の値を返す。

書式：VLOOKUP(検索値, 範囲, 列番号)

INDEX 関数

範囲にある要素から、行番号と列番号で指定されたセルの値を返す。

書式：INDEX(範囲, 行番号, 列番号)

(例)

| | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | あ | い | う |
| 2 | え | お | か |
| 3 | き | く | け |

INDEX(A2:C3, 1, 1)とした場合は「え」を返す。

MATCH 関数

範囲の中から検査値と同じ値を検索し、見つけたときの相対位置を返す。

書式：MATCH(検査値, セル範囲)

(例)

| | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | あ | い | う |
| 2 | え | お | か |
| 3 | き | く | け |

MATCH("か", A2:C2)とした場合は 3 を返す。

カレーとパスタの店舗を展開している J ショップでは、POS を利用した売上管理システムが稼働している。売上情報の分析を行うため、売上管理システムから 1 日の売上情報を CSV 形式でダウンロードし、表計算ソフトを利用して集計作業を行っている。

CSV 形式でダウンロードしたファイルは、表計算ソフトの「データ」ワークシートに読み込む。

| | A | B | C | D | E | F |
|----|------------|-------|---------|-----|----|------|
| 1 | 売上日 | 店舗コード | 商品コード | 価格 | 数量 | 売上金額 |
| 2 | 2010/12/13 | SB001 | C-PK-01 | 500 | 3 | 1500 |
| 3 | 2010/12/13 | AK002 | P-ME-01 | 500 | 2 | 1000 |
| 4 | 2010/12/13 | AK002 | D-TE-01 | 150 | 1 | 150 |
| 5 | 2010/12/13 | SB002 | P-TM-01 | 500 | 3 | 1500 |
| 6 | 2010/12/13 | HA001 | P-TM-01 | 500 | 3 | 1500 |
| 7 | 2010/12/13 | AK001 | C-BF-01 | 600 | 1 | 600 |
| 8 | 2010/12/13 | SB002 | D-JC-01 | 150 | 2 | 300 |
| 9 | 2010/12/13 | AK002 | D-CF-01 | 200 | 2 | 400 |
| 10 | 2010/12/13 | SB002 | C-TK-01 | 550 | 3 | 1650 |
| 11 | 2010/12/13 | AK002 | D-TE-02 | 200 | 2 | 400 |
| 12 | 2010/12/13 | SB001 | D-JC-01 | 150 | 2 | 300 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |

図 1 「データ」ワークシート

「データ」ワークシートに読み込んだ売上データは、1 日分の全店舗の売上データであり、1 行目に項目名が入る。2 行目以降は空白行がない状態で売上データが読み込まれる。

<設問 1 > 次の店舗別売上一覧の作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

「データ」ワークシートに読み込まれた売上データを基に、図 2 に示す店舗別の売上数の合計と売上金額の合計を求める「集計」ワークシートを作成した。

| | A | B | C | D |
|---|---------|--------|------|---------|
| 1 | 集計情報 | | 最大行数 | 1156 |
| 2 | | | | |
| 3 | 店舗別売上一覧 | | | |
| 4 | 店舗コード | 店舗名 | 売上数 | 売上金額 |
| 5 | HA001 | 原宿本店 | 393 | 153,100 |
| 6 | SB001 | 渋谷1号店 | 494 | 196,900 |
| 7 | SB002 | 渋谷2号店 | 538 | 219,000 |
| 8 | AK001 | 秋葉原1号店 | 441 | 184,600 |
| 9 | AK002 | 秋葉原2号店 | 447 | 180,800 |

図 2 「集計」ワークシート

店舗コードは、あらかじめ正しいデータを入力した。

セル D1 には、「データ」ワークシートに何件データが読み込まれたかを表示するため、次の式を入力した。

= COUNTA(データ!A:A) - 1

セル B5 に店舗名を表示するため、図 3 に示す「店舗」ワークシートから店舗名を取り出す関数を入力し、セル B6 から B9 へコピーした。

| | A | B |
|---|-------|--------|
| 1 | 店舗コード | 店舗名 |
| 2 | SB001 | 渋谷1号店 |
| 3 | SB002 | 渋谷2号店 |
| 4 | AK001 | 秋葉原1号店 |
| 5 | AK002 | 秋葉原2号店 |
| 6 | HA001 | 原宿本店 |

図 3 「店舗」ワークシート

= (1)

セル C5 には、店舗ごとの売上数の合計を求めるため、次の式を入力した。この式は、セル C6 から C9 までコピーする。

= SUMIF((2) , A5, (3))

セル D5 には、店舗ごとの売上金額の合計を求めるため、次の式を入力した。この式は、セル D6 から D9 までコピーする。

= SUMIF((2) , A5, (4))

(1) の解答群

- ア. VLOOKUP(\$A5, 店舗!A2:B6, 2)
- イ. VLOOKUP(A5, 店舗!A\$2:B\$6, 2)
- ウ. VLOOKUP(A5, 店舗!\$A2:\$B6, 2)
- エ. VLOOKUP(A\$5, 店舗!A2:B6, 2)

(2) ~ (4) の解答群

- ア. データ!A:A
- イ. データ!B:B
- ウ. データ!C:C
- エ. データ!D:D
- オ. データ!E:E
- カ. データ!F:F

<設問 2> 次の分類別集計に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

J ショップでは、図 4 に示す、桁ごとに意味を持たせた記号を用いて、ハイフンで結んだ 7 桁の商品コードを使用している。

| | | | | |
|------|---|------|---|-----|
| 分類区分 | — | 商品区分 | — | 連番 |
| 1 桁 | | 2 桁 | | 2 桁 |

図 4 商品コードの形式

現在、分類区分はカレー、パスタ、ドリンクの 3 種類である。これらの分類区分と店舗ごとの売上数を集計する分類別集計表を店舗別売上一覧に続けて作成した(図 5)。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | |
|----|---------|--------|-------|---------|-------|--------|--------|-------|--|
| 1 | 集計情報 | | 最大行数 | 1156 | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | 店舗別売上一覧 | | | | | | | | |
| 4 | 店舗コード | 店舗名 | 売上数 | 売上金額 | | | | | |
| 5 | HA001 | 原宿本店 | 393 | 153,100 | | | | | |
| 6 | SB001 | 渋谷1号店 | 494 | 196,900 | | | | | |
| 7 | SB002 | 渋谷2号店 | 538 | 219,000 | | | | | |
| 8 | AK001 | 秋葉原1号店 | 441 | 184,600 | | | | | |
| 9 | AK002 | 秋葉原2号店 | 447 | 180,800 | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | |
| 11 | 分類別集計 | 店舗 | | | | | | | |
| 12 | | HA001 | SB001 | SB002 | AK001 | AK002 | | 最多売上店 | |
| 13 | 分類区分 | 分類名 | 原宿本店 | 渋谷1号店 | 渋谷2号店 | 秋葉原1号店 | 秋葉原2号店 | | |
| 14 | C | カレー | 156 | 194 | 240 | 204 | 188 | 渋谷2号店 | |
| 15 | P | パスタ | 82 | 122 | 110 | 96 | 102 | 渋谷1号店 | |
| 16 | D | ドリンク | 155 | 178 | 188 | 141 | 157 | 渋谷2号店 | |

図5 分類別集計を追加した「集計」ワークシート

分類区分と店舗コードで売上数を集計する必要があるため、「データ」ワークシートのG列に、分類区分と店舗コードを合わせた検索用文字列を作成した(図6)。

| | A | B | C | D | E | F | G |
|----|------------|-------|---------|-----|----|------|--------|
| 1 | 売上日 | 店舗コード | 商品コード | 価格 | 数量 | 売上金額 | 分類検索キー |
| 2 | 2010/12/13 | SB001 | C-PK-01 | 500 | 3 | 1500 | SB001C |
| 3 | 2010/12/13 | AK002 | P-ME-01 | 500 | 2 | 1000 | AK002P |
| 4 | 2010/12/13 | AK002 | D-TE-01 | 150 | 1 | 150 | AK002D |
| 5 | 2010/12/13 | SB002 | P-TM-01 | 500 | 3 | 1500 | SB002P |
| 6 | 2010/12/13 | HA001 | P-TM-01 | 500 | 3 | 1500 | HA001P |
| 7 | 2010/12/13 | AK001 | C-BF-01 | 600 | 1 | 600 | AK001C |
| 8 | 2010/12/13 | SB002 | D-JC-01 | 150 | 2 | 300 | SB002D |
| 9 | 2010/12/13 | AK002 | D-CF-01 | 200 | 2 | 400 | AK002D |
| 10 | 2010/12/13 | SB002 | C-TK-01 | 550 | 3 | 1650 | SB002C |
| 11 | 2010/12/13 | AK002 | D-TE-02 | 200 | 2 | 400 | AK002D |
| 12 | 2010/12/13 | SB001 | D-JC-01 | 150 | 2 | 300 | SB001D |
| ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ | ∴ |

図6 「データ」ワークシートに検索用文字列を追加

「データ」ワークシートのG列は、以下の式をセルG2に入力し、セルG3以降へコピーした。

= B2 & (5)

「集計」ワークシートのセルC13には、図3の「店舗」ワークシートから店舗名を取り出して表示するために次の式を入力し、セルD13からG13にコピーした。

= (6)

「集計」ワークシートの分類区分と分類名、店舗コードと店舗名の項目を入力し、セルC14に次の式を入力した。この式はセルC15とC16およびセルD14からG16へコピーした。

= SUMIF((7), (8), (9))

分類区分ごとに最も多い売上数を出した店舗を表示するため、セル H14 に次の式を入力した。この式は、セル H15 と H16 にコピーする。

=

(5) の解答群

- ア. LEFT(C2, 1)
- イ. LEFT(C2, 2)
- ウ. RIGHT(C2, 1)
- エ. RIGHT(C2, 2)

(6) の解答群

- ア. VLOOKUP(\$C12, 店舗!A2:B6, 2)
- イ. VLOOKUP(C12, 店舗!A\$2:B\$6, 2)
- ウ. VLOOKUP(C12, 店舗!\$A2:\$B6, 2)
- エ. VLOOKUP(C\$12, 店舗!A2:B6, 2)

(7) , (9) の解答群

- ア. データ!\$B:\$B
- イ. データ!\$C:\$C
- ウ. データ!\$D:\$D
- エ. データ!\$E:\$E
- オ. データ!\$F:\$F
- カ. データ!\$G:\$G

(8) の解答群

- ア. C\$12 & \$A14
- イ. C\$12 & A\$14
- ウ. \$C12 & \$A14
- エ. \$C12 & A\$14

(10) の解答群

- ア. INDEX(\$C13:\$G13, 1, MATCH(MAX(C14:G14), C14:G14))
- イ. INDEX(\$C13:\$G13, MATCH(MAX(C14:G14), C14:G14), 1)
- ウ. INDEX(C\$13:G\$13, 1, MATCH(MAX(C14:G14), C14:G14))
- エ. INDEX(C\$13:G\$13, MATCH(MAX(C14:G14), C14:G14), 1)

<メモ欄>

<メモ欄>

<メモ欄>

